

会 議 録

会議の名称	平成 23 年度 第 1 回文化財審議会
開催日時	平成 23 年 7 月 19 日(火) 15 時 00 分～17 時 00 分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	渋谷一夫委員、木藤隆太郎委員、関健二委員、大澤綾委員、山田友昭委員、 水宮恒委員 事務局（永瀬生涯学習課長、加藤副課長）
欠席者	横山亮英委員
会議次第	1. 報告 (1)平成 22 年度文化財保護事業について (2)平成 23 年度文化財保護事業について (3)入間東部地区文化財保護連絡協議会総会報告 (4)その他 2. 協議 (1)今年度の文化財保護審議計画について (2)富士見市文化財保存団体連絡協議会補助金交付について (3)その他
会議資料	①平成 22 年度の主要事業 ②平成 23 年度の主要事業 ③平成 23 年度文化財審議会計画（案） ④富士見市文化財保存団体連絡協議会補助金交付について ⑤富士見市の文化財制度の拡充にむけて（案）
公開・非公開	公開（傍聴人 0 人）
会議録確認	渋谷一夫委員

会議内容

あいさつ（議長）

1. 報告

（1）平成 22 年度文化財保護事業について

資料説明

委員：今の説明で震災による指定文化財への影響については報告があったが、指定されていないそれ以外の文化財はどうだったのか。

事務局：指定文化財については調査したが、それ以外は十分な調査ができていない。

委員：今回の地震で感じたことは、文化財指定されているだけで十分な調査や記録が行われないうちに、失ってしまった文化財もあったということである。データをしっかりと保存しておかないと、復元できるものもできなくなってしまう。基礎調査は極めて大事である。

委員：市内でも建築年代の古い家では、何軒かで地震で被害があったと聞いている。

委員：建造物の場合は、地盤にも影響される。液状化現象は心配である。

委員：水子地区でも、関東大震災で液状化した場所もあったと聞いている。

委員：大きな災害がいつ富士見市にあるかわからないので、文化財を後世まで守れるような対策が必要だ。

事務局：市としてできることは、着実にやっていきたい。

（2）平成 23 年度文化財保護事業について

資料説明

委員：予算書の水子貝塚公園事業のなかで水子貝塚星空シアターの予算が委託金に変わったと聞いた。

事務局：今年度から実行委員会への委託料となっている。

委員：広報ふじみへの文化財の連載は、簡潔でよい。どうしても文化財は説明過剰になりがちであるので、簡潔にしたほうが市民は読みやすい。

委員：7月号の「オトウカ山」であるが、若い世代だと「オトウカ」の意味が、稲荷の訓読みであることを知らない。

委員：ルビがふってあるが、これも難しい。7月号の「お舟山」は「おふねやま」となっているが、「おふなやま」という古老もいる。

事務局：ルビをふるときは、十分に聞き取り調査を行い注意したい。

委員：資料館での活用をもっと積極的に行ってもらいたい。難波田城資料館では、今頃古代蓮が咲いている。こしたのも積極的に広報したほうがよい。

委員：大澤家住宅は、まだ住んでいるときに映画のロケに使用された。映画のロケ地としての活用もできる。

委員：ウォーキングの全国的組織も先日市内を歩いたと聞いている。さまざまな活用方法を検討してもらいたい。

事務局：文化財の魅力を活かした広報ができるようにしたい。このことは資料館にも伝える。

（3）入間東部地区文化財保護連絡協議会総会報告について

事務局：5月27日に定期総会を開催した。今後は、10月下旬に文化財めぐり（三芳町）、11月下旬に管外研修、1～2月に職員研修を実施する予定。年間を通しては、資料館スタンプラリー、歴史と緑の散歩道のデジタルデータの作成を行う。事業については、詳細が決まり次第、委員には通知する。

(4) その他

なし

2. 協議

(1)今年度の文化財審議会計画について

資料説明

委員了承

(2)富士見市文化財保存団体連絡協議会補助金について

資料説明

委員：囃子団体からは、太鼓等の道具の修繕費用が高額であるという話を聞く。

委員：近隣では川越市内に、少し遠くなるが群馬県にも業者がある。そこは埼玉県内でも実績がある。

委員：こうした情報は、事務局としても各団体に提供してほしい。

事務局：各団体に伝える。

委員：今年の獅子舞・囃子の開催状況はわかるか。

事務局：6月30日に文化財保存団体連絡協議会の会議に出席し、その際に確認した。4月10日の榛名神社祭礼では神楽は行ったが勝瀬囃子は中止した。夏祭りでは、南畑八幡神社獅子舞は中止、ただし秋の祭りは実施予定とのことである。水子地区では7月15～16日に実施する。諏訪神社祭礼は例年通り8月28日実施とのことである。10月の「富士見ふるさと祭り」には、水子城の下組囃子連が出演予定である。

委員：伝統芸能の団体では、後継者の確保が大変である。状況を知っているか。

事務局：連絡協議会の会議でも後継者育成について話題になった。団体間同士でも情報交換を行っていた。市としても注視していきたい。

委員：補助金を有効に活用してほしい。

(3)その他

委員：前回の会議で「屋号・地名から見えてくるもの」と題した資料を作成した。毎日の生活の中から自然発生的に生まれた屋号や地名をもとに、新旧新河岸川の南畑地区の状況復元を行ったので、説明したい。

(資料説明)

委員：新河岸川を考えると、一つ一つは文化財になるかどうかかわからないが群としてみると十分文化財となり得ることがわかった。

委員：富士見市内には、新河岸川舟運の河岸が6河岸あり、歴史的に重要である。県ではサイクリングロードでの活用も行っている。市としても何か考えてもらいたい。

委員：伊佐島から上流の改修前の古川もうまく活用できるとよい。

委員：今回調べた資料にも限界があり、さらに調査を進めればまだまだ関連資料はあると思われる。

委員：書き記しておくことによって、後の人にも役立つ。新河岸川を広域的にみると、川越市や和光市などで活
発な活動が見られる。富士見市は低調である。もっと積極的に活用してもらいたい。

事務局：この提言資料は、これまでの建議（案）として作成している中で、事例研究という位置づけが可能と思
われる。資料として入れてよいか。

委員了承

次回会議は、10月18日（火）、文書資料等の調査を行うため、難波田城資料館を会場として開催を予定する。

